



つわの

9月定例会

議会だより



木部・富長山八幡宮で行われた地芝居「南部坂 雪の別れ」

平成24年 第6回 9月定例会

- 補正予算 2p
- 決算審査 3p
- 一般質問 4p~9p
- 条例改正、意見書 10p
- 議案賛否一覧 11p
- 委員会報告・編集後記 12p

No.28 (2012)

平成24年10月20日発行
島根県津和野町議会
TEL 0856-74-0089
E-mail gikai@town.tsuwano.lg.jp
印刷：太 洋 印 刷

補正の主な内容

(千円以下切り捨て)

《歳出》

総務費	集落支援員4名分報酬	……………448万円
農林水産業費	新規農林業就業者支援事業補助金	…480万円
商工費	プレミアム商品券補助金	……………1,780万円
	津和野川桜石垣ライトアップ工事	…484万円
土木費	落石崩壊対策工事(町道林道3路線)	…239万円
教育費	学校給食センター備品更新	……………202万円
	設計監理委託料	……………273万円
	(木部中校舎改修、青原小屋内運動場解体工事に伴う)	
	青原小学校屋内運動場解体施設の追加	……………1,086万円

《歳入》

農林水産業費県補助金	……………1,070万円
商工費県補助金	……………274万円
	(おもてなし観光地魅力向上事業費補助金)
土木費県補助金(農道舗装に伴うもの)	……………280万円
繰入金(産業後継者育成基金より)	……………480万円
臨時財政対策債、商工債、教育債	……………7,959万円

プレミアム商品券補助券、就農支援事業など
平成24年度一般会計補正予算

1億2821万円追加し
歳入歳出予算総額
78億6873万円

平成23年度 津和野町各会計決算

9月議会で各会計決算の13議案を承認しました。
決算審査特別委員会での主な審査意見を報告します。

	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	80億5,784万円	80億168万円	5,616万円
特別会計	41億2,504万円	40億7,307万円	5,197万円
病院事業会計	収 益	費 用	差引額
	7億3,870万円	7億3,324万円	546万円

*千円以下切り捨て

- 基金残高 **32億2,876万円**
- 地方債残高 **113億8,871万円**
(町民1人あたりの借金 **136万円**)

決算特別委員会の意見

時間外勤務

職員の時間外勤務は、課、担当によって格差が大きい。人事管理の徹底を。

負担金・補助金

しつかりと見直しを図ること。

委託料

確認作業を着実にすること。

ふるさと納税制度

納税者の意向を十分考えよ。

国民健康保険特別会計

滞納者の収納強化を図る一方で、対象者との相談を密にすべき。

簡易水道事業特別会計

水道料金の滞納処理は、税の収納対策との連携を密にすべき。また、未給水地区の早急な解決を図るべき。

下水道事業特別会計

未納額の収納対策の強化を。

津和野処理区の加入率の向上対策を急げ。

病院事業特別会計

医療従事者の確保対策をより充実させ、療養病棟の再開と今後の方向について、見直すべき。

滞納額が多い

法的手段も考えて徴収体制を強化すべき。

滞 納 額 一 覧	
町民税	1,755万円
固定資産税	8,371万円
住宅使用料	841万円
国民健康保険税	3,320万円
水道料金	916万円
下水道料金	157万円

事業導入後の検証を確実に

*木質ボイラーの設置効果

問 なごみの里に設置されている木質ボイラーについては、約7900万円をかけ、平成24年4月から稼働している。このことについては、昨年の6月定例会で質問しているが、その後の経過について。

①年間灯油使用量の削減状況
②削減に向けての検討事項の結果

③設置者との協議状況

④今後の取り組み

町長 ①年間灯油使用量は、9万576リットルで削減率は38.9%で、目標値80%には届いていない。

②年間を通じて灯油削減に大きく関係しているのはチップの含水率であり、その対策が大きな課題である。

③施工業者である東洋熱工業(株)、チップボイラー納入業者の宇部テクノエンジン(株)、施工管理をした(株)荒谷建設コンサルタント、指定管理者の(株)津和野、地域振興課による合同検証会議を開き対応



青木 克弥 議員

を検討した。

対策として、チップの含水率を下げるためにチップサイロの側面に換気口の設置、天気の良い日は屋根を解放するなどの対策をする。ボイラーの運転方法では、チップボイラーを灯油ボイラーより2時間早く動かす。このようなことを7月より試験開始している。

④今後の取り組みとして、含水率の低い原料の確保について、確保が出来るように総合特区のなかで検討する。

また、低含水率の原料確保の可能性が高まれば、今後も積極的な設置を考えた。

【その他の質問】

●観光計画の内容とその進捗状況、津和野駅前整備計画

●町長付き職員の子生達の活動状況

子どもからお年寄りまで元気な町づくり

*疾病予防

問 町民の疾病予防のためには、保健師などによる健康指導や相談が重要だと考える。町の現況は。

町長 保健師を健康保険課に4人、地域包括支援センター1人を配置し、日原地域では月1回の健康相談を行っている。

問 日原地域の高齢者などから距離的な面で保健師に相談しにくいとの声を聞く。町全体の疾病予防及び医療費抑制の面から問題があると考え。税金を使い建設はしたが、完成から現在まで全く使用されていない、日原診療所横の発熱外来を利用して、健康相談を行うとはどうか。

町長 発熱外来を利用して、健康相談などを行いたい。

*観光振興

問 平成19、20、22、23年と清流日本一に輝いた高津川の清流や鮎を目的に来町される観光客も年々増えていることを実感する。これは高津川流域の方々が30年先を考え、川を大



岡田 克也 議員

切に守ってきた賜物だと思つ。自然を生かした産業・観光振興策を問う。

町長 自然を活用した観光振興は、将来的な幅広い産業の振興につながるかと考える。観光の中核的資源として魅力的なものにしていく。

*少年スポーツの振興

問 少子化の影響で、団員数が減少し、体育施設の使用料などの運営費が大きな負担となり、団員の加入促進や活動の妨げとなっているように感じる。子どもの健康な体作り、少年スポーツ振興のために、使用料の負担を軽減すべきだと考えるが。

教育長 平成17年から19年9月までは100%減免で対応してきたが、財政健全化により、50%の減免となった経緯がある。少年団に未加入の団体も考慮し、減免率の見直しや補助金の見直しについて併せて検討する。

定住につながる住宅



京村 まゆみ 議員

問 今年度中に『公営住宅長寿命化計画』を策定されるとのことだが、現地調査で出てきた課題や問題点と、それを踏まえた構想は。

町長 現時点では調査段階であり、今後現地調査や入居者へのアンケートを基に検討していく。

問 各地域にある教職員住宅も二元管理、運営が可能か。

町長 木部地域の2棟と左鐙地域の1棟は老朽化で使用できない。また青原地域の1棟は屋内運動場改築工事にあわせて解体する予定であるが、他の教職員住宅については「教育委員会が特に必要と認めるときは、期限を定めて他に転用することができると」という条例の但し書きの適用により教職員関係者以外に転用しているものも多いので、一元化は可能と考える。

問 教職員住宅のように各地域に分散して町営住宅を置く事で、独居の高齢者も若者世代も地域に住み続ける可能性

を広げられる。美郷町や海士町は過疎債を財源として、町内各地域にバランスよく分散して住宅や住宅用分譲地を設け、大胆な優遇策を打ち出し定住につなげている。低所得者層や独居の高齢者も、支える側の若者世代も地元に住み続けられる条件整備や優遇策を打つて出るべきではないか。

町長 定住は総合施策なので、他の課題も解決しながら総合的に進めて行きたい。住宅の条件整備についても意識調査の結果を踏まえて検討していく。

問 町営のみでなく、空き家や民間経営のアパートなども含んだ総合的な住環境の情報の一元化も必要ではないか。

町長 今後は民間のアパート管理者などの情報収集も行い、ホームページなどで情報提供していきたい。



山を活かす高津川総合特区を



板垣 敬司 議員

***山林未利用材を燃料とした木質バイオマス発電所建設**

問 今年7月より、再生可能エネルギー固定価格買取制度が始まった。高津川流域の山林資源の有効活用と雇用対策の面から、発電所建設を総合特区として取り組む考えはないか。

町長 流域の山林面積は12万畝あり、年間の森林成長量は36万立方メートルと推測される。現在、搬出利用されている量は8万立方メートル程度で、成長量の20%にすぎない。送電出力5千瓩の木質バイオマス発電の場合、年間必要量8万立方メートル、9万立方メートル（現在搬出されている全量）とされている。今後は、20万立方メートル程度の搬出が常時可能な体制を流域で確立する必要がある。そのためには、林地境界確認や林内作業道の整備、山林作業従事者の確保など、課題が多々ある。発電所建設を想定したシミュレーションでは、年間約10億円以上の売電額が見込まれ、燃料となる木質資源の買取価格も現在より

り高値安定化が想定できるところから、林業による雇用の確保と流域経済の活性化に大きく繋がるものと考えられる。このプロジェクトを進めるためには、流域の市町村が一丸となつて取り組む事が重要で、積極的に共通理解を深めていきたい。

***公民館のあり方**

問 まちづくり委員会に公民館が積極的に関わるべきであると考えられる。地域振興の事業推進の観点から、町長部局との併任辞令はできないのか。

町長 現時点で併任は考えていない。今後においては、社会教育委員会の答申を踏まえ、適宜検討していく。



老人介護事業、ヘリポート基地建設



後山 幸次 議員
うしろ やま ゆき つぐ 議員

*認知症対策

問 当町の高齢者数3514人中認知症の方は610人で年々増加の一途である。これに対応する医師数とグループホーム入所者の健康管理について。

町長 認知症対策としては、第5期計画の「介護予防の推進」を重点的に取り組む。また、認知症サポーター医として、共存病院副院長が認知症サポーター医養成研修を修了されている。益田圏域では松ヶ丘病院に1人、あわせて2人。町内2苑のグループホームには、共存病院院長が月2回の訪問診療を行っている。

*共存病院療養病棟

問 六日市病院の一部が老人保健施設として「療養強化型」へ移行された。当町も医療対策課が共存病院内へ移設。医療従事者住宅も完成し、準備は整ったと思われる。医師、看護師の確保に期待し、療養病棟再開を町民は切に望んでいる。

町長 病棟再開は住民の願い

と承知している。再開には医師1人、看護師9人、介護福祉士10人が必要である。奨学金、修学資金制度の活用など情報収集や説明を実施し、住民の期待に添えるような病院を目指す。

*ヘリポート基地建設

問 ドクターヘリが中学校に離着陸するのは危険である。なごみの里の遊休地に消防団の消防法訓練場も併せて建設してはどうか。

町長 場所も最適であり、総合計画をたて新年度で実施したい。

*クラウンドゴルフ場

問 津和野地域は鷺原公園、嘉楽園を整備してはどうか。登録者2009人で1億円近い施設建設はいかがなものか。

町長 日原地域では3面の要望があった。津和野地域は候補地を選定中。規模も未定である。喜時雨の大会使用は連盟と協議検討する。

日原中寄宿舎、解体したいが後回しに



小松 洋司 議員
こまつ ようじ 議員

問 日原中学校寄宿舎は、閉寮後11年、建設後50年と48年が経過し、今や危険建築物である。

①町は今後この寄宿舎をどのようにしたいのか。
②アスベストの有無は。

教育長 ①寄宿舎の利用については、もし再利用するとなれば、雨漏りなどの施設修理や耐震補強工事など、多額の工事費が必要となり、また現在のところ有効な施設利用の案もないので解体したい。ただし、(学校の)耐震工事などを優先する課題が多く、一般財源だけで行う解体事業については後回しとなっている。近隣の住民の皆様には申し訳なく思っている。

②平成21年、地域住民よりアスベストの有無について問われたため、島根県環境保健公社に調査を依頼した。結果は天井材、ボード壁材を採取して、成分検査を行ったが、アスベストは「無し」との

報告を受けているこの結果については、自治会長を通じて近隣住民の皆様にも周知をお願いした。

*ALTEを2名体制に

問 ①新学習要領、並びに教育ビジョンに掲げる「全国及び世界で活躍できる学力を養う」ために、ALTE(外国語指導助手)の2人体制を確保されたい。

②町長部局に国際交流員(CIR)の配置を要望する。

教育長 ①ALTEの2人体制を確保することは望ましいことではあるが、現段階では各小・中学校での有効的な活用について考える必要があり、その上で、必要があれば増員に向けて協議したい。

町長 ②ベルリン市との交流もあり、ヨーロッパ系のCIRについては魅力を感じるが、制度の詳細な研究も含め、今後検討させて頂きたい。

【その他の質問】

●津和野駅前医療従事者住宅の10月供用開始時の入居者数

若い力が未来をつくる



道 信 俊 昭 議員

***IFJ**

問 本年度重要施策の一つにIFJ(イノベーションフォー・ジャパン)というのがある。都会の大学生4人に町長は「私と一緒に津和野を変えてもらいたい」と町長付けの職を与えた。

あれから半年経つが彼らの公式ブログを見ている限り、未だ「体験談Ⅱ現状分析」の域を出していない。

彼らの目的が本町の改革なら、次なる行動として「こうすれば町が良くなるⅡ提言」が求められる。

彼らが本町で経験したことを感じた「現状の不備を指摘する提言」を知りたい。

町長 ブログに体験談を書くのは学生本人の自由だが、提言となると町とのすりあわせが必要となる。

この事業が広く町民に理解されるためにはまず役場内部に知らしめたい。

***声なき声**

問 子ども連れの観光客から「遊び場はありませんか」「授

乳させたいのだが」と聞かれることが私には年々増えている。

県は2年前「赤ちゃんホットルーム施設整備事業」を設け補助金を出したが本町では使われた形跡がない。

ところで、幼い子供は自分の要望を出すすべがない。

①授乳できる町の施設はどこか。

②施設の所在地の地図やステッカーを作らないか。

③子どもの楽しめる場所や施設の建設を考えないか。

④県の子育て施策をスムーズに町民に伝える方法は。

町長 ①なごみの里とシルクウェイにちほらである。

②次回発行の地図より検討したい。

③現在はない。

④ホームページで県の担当課にリンクをはったり、フェイスブックに掲載したりしたい。

必要かどうか再考せよ



川 田 剛 議員

***クラウドゴルフ場建設**

問 今年度の日原地域におけるクラウドゴルフ(以下GG)場建設事業に関しては、賛同する。来年度は津和野地域に建設するとされているが、2ヶ所も必要なのか。

町長 生涯スポーツの振興と、町民の健康と福祉の増進、世代間交流の促進をはかることを目的としており、その目的を達成することは重要な施策であり、両地域に必要であると考えられる。今年度整備するGG場の活用方法を連盟の方々と協議する。建設コストを低く抑えることも必要。必要な規模を検討したい。

建設の経緯としては、GG連盟からシルクウェイにちほらの場所にGG場建設の要望があった。再度GG連盟内で協議してもらったところ、日原地域と津和野地域に建設してもらいたいとの要望があがった。その後、日原、津和野両連合自治会からも要望があがったが、財政的に一度には難しいので、2カ

年をかけて建設することにした。

この度、いくつか建設に慎重な声が上がったことを重く受け止め、必要かどうか連盟や連合自治会と再度協議することも検討すべきと考える。

***オートキャンプ場**

問 高津川周辺では多くの鮎釣客が訪れ、中には車中泊されている方もある。道の駅ではキャンピングカーなどが停車している光景を目にするが、道の駅でオートキャンプが出来るよう水場整備などを行い、施設の利便性の向上を図るべきだと考えるがどうか。

町長 簡易シャワーは道の駅に設置されている。炊事ができるようなものということであれば、クラウドゴルフ場の建設工事があることから、配水管などの整備工事が終わった来年度に向け、オートキャンプ場としての利活用について再度検討したいと考える。

観光津和野の景観・町取引業者登録要綱



米 澤 宥 文 議員

*旧国民宿舎青野山荘活用計画

問 国道9号線沿いの、町有の旧青野山荘は昭和40年に新築CR造4階建、延面積1841平方メートル、新築から47年、閉鎖から9年経過で昔の面影はない。活用又は、解体の計画はあるか。

町長 当面倉庫として適切に管理活用したい。

問 倉庫としての活用は消防法で大きな検討課題が生じる。

解体には多額の自主財源が必要、解体費と敷地8900平方メートルを交換してはどうか。

町長 解体費と敷地交換は検討する。

*空き家条例制定の考えは

問 空き家は景観に悪影響を与え、また不審者侵入や放火の恐れ、風雪で屋根壁の倒壊などの恐れがある。住民の不安解消のため、条例制定する自治体が増えている。更に増えるであろう危険性の高い空き家の持ち主に適正管理の指導、勧告をするためには空き

家条例の制定が必要である。

町長 景観や防犯・防災上危険な空き家を把握し「空き家対策調整会議」を設け適正な管理について検討する。

*町取引業者登録要綱の一部削除

問 平成17年告示の町取引業者登録要綱の登録申請第4条第3項に「納税誓約書を担当課に提出で申請できる」とある。大きく公平性を欠く、この登録申請第4条第3項の削除はできないか。

近隣の益田市、山口市、吉賀町は滞納があれば登録申請はできないこととなっている。

町長 町内業者育成の観点から納税誓約書で納税履行の意思表示と理解している。現在登録要綱の見直し中である。

問 町所有のベビー・チャイルドシート借用と米パン焼き器(コパン)補助金は「町税などの滞納が無いもの」と厳しい条件もある。要綱削除すべきではないか。

町長 年度末には出したい。

公共工事とは

*工事の入札

問 入札の参加資格として、請負金額が2500万円以上になると管理技術者または主任技術者を専任で、配置することになっている。複数の工事に同一の技術者を配置予定として申請することは可とするが、他の工事の落札者となった場合は、本件工事の落札者になることはできないとなっている。資格審査は。

町長 入札実施要綱規定では、申請時に配置予定技術者調書を提出することにより、配置予定技術者の手持ち工事の有無をチェックし、更にコリンズ・テクノス検索システムを利用して確認している。

問 県工事では、予定価格を公表しているが、町としては公表しないのか。

町長 予定価格が目安となり適正な競争が行われにくくなる。また業者の見積努力を損なわせるなどの弊害を踏まえ、国から指導があったので、町は事後公表としている。



三 浦 英 治 議員

問 町に対して、賠償提訴している業者が、入札に参加しているが問題はないのか。また、町に対して、訴訟を起している業者を指名している状態は過去にもあったのか。

町長 入札参加者は選定基準を満たしている。指名から除外する場合は、建設業法違反、独占禁止法違反など、法律に抵触するか、不誠実な行為により町の要綱規定に反する場合には、審査会において審議し必要であれば指名停止を行う。なお、県から指名停止の通知があった業者は、審査会で審議することなく指名停止としている。町に対しての訴訟を原因に入札参加を拒むことはできない。また、過去にこのようなケースは、なかったものと理解している。

【その他の質問】

- 清流日本一の高津川
- 買い物弱者

行政組織機構の改革を求める



沖田 守 議員
おき た まもる

問 合併以来、行財政改革を重点課題として位置づけ取り組まれてきた。その成果は財政健全化指標に示す数値を達成するまでに改善された。一方、行政組織の改革は、余りにも細分化され、課は複雑で町民に分かりづらいものとなっている。今一度大課制を検討され、職員の効率を図り、懸案の事業を積極果敢に展開されるべきと考えるが所見は。

町長 大課制についてはその意義を認めている。しかし、町長就任時の公約を実現するため、私の方針を強く示し、邁進すべきと考えまちづくり政策課や営業課などの小人数課を新設した。これらの課は公約の柱である住民と行政との協働のまちづくりを政策として構築し、今年度各集落の維持活性化策を進めているところであり、併せて各種新規事業を展開しているところである。

新設の課を設置して今年度で3年目を迎える中、これらの課の内容も、これまでの政策構

築などの準備的なものからいよいよ実践へと入ってきている。次へのステップとして機構改革を行うことを中心とした組織マネジメントの必要性を認めている。

本町の今後の人口動向や社会構造を見据え、医療・福祉の充実を図る上で、更に産業振興面からも、様々な組織力の強化が必要と感じている。こうした中、本年度は第2次行政改革大綱実施計画の策定を行い、具体的な機構改革を実施していく。

《その他の質問》

- 公共工事の入札制度の改正
- 学校や公民館等へのシャワー設備の整備



オスプレイの飛行中止を求めよ



竹内 志津子 議員
たけ うち しづこ

*消費税増税による町財政の負担

問 消費税が10%に増税されると税収減や税の滞納増、町の事業や物品購入にかかる消費税が増え、町財政への負担が大きくなるのではないかと懸念しています。

① 町に入ってくる地方消費税はどれくらいか。

② 「社会保障と税の一体改革法」廃止に向けて、全国町村会などで動きがあるか。

町長 ①現時点での税収の影響額は算出することは不可能で、町財政への影響を予測することは難しい。物件費などにかかる10%の消費税は、平成23年度決算で試算してみると1億円の負担、病院では2100万〜2500万円余の負担になる。地方消費税は約8900万円の増収になり貴重な財源になる。

② 全国知事会・全国町村会など地方6団体の共同で声明が発表された。内容の主なものは「安定財源の確保は

避けられないので評価する。消費税の逆進性をふまえた低所得者への対策を講じる必要がある。真に国民が将来を託しうる持続可能な社会保障制度を求める」などである。

*オスプレイ飛行訓練

問 米海兵隊の垂直離着機MV22オスプレイが津和野町上空を飛行する可能性がある。飛行させないよう関係機関に働きかける意向はないか。

町長 島根県町村会として緊急声明を発表し、安全性に対して関係自治体や住民に対して十分説明し理解を求めること、関係自治体の意向を無視して実施されることのないよう、にすること等が盛り込まれ、知事を通じて国へ申し入れた。

《その他の質問》

- 老朽化した空き家対策
- 家庭のエコ診断とリフォーム助成事業

主な条例改正など

【賛否表は11ページに掲載】

◎非常勤職員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正

【採決結果Ⅱ可決】

次表のとおり報酬等を現行の条例に加える。

区 分	支給単位	報酬(円)
集 落 支 援 員	月 額	160,600
伝統的建造物保存 地区保存審議会	出務1日につき	7,300
指定文化財委員会	出務1日につき	7,300
文化財調査指導員	出務1日につき	7,300

◎災害弔慰金支給等に関する条例の一部改正

【採決結果Ⅱ可決】

災害弔慰金を支給する遺族の範囲を改正し、死亡者に配偶者、子、父母、孫又は祖父母のい

れもがない場合で、兄弟姉妹がいる時、死亡者と死亡時に同居又は生計を同一にしていた兄弟姉妹に支給する。

◎へき地保育園設置管理条例の一部改正

【採決結果Ⅱ可決】

須川へき地保育園を廃園し、条例から削除する。

◎医師住宅設置管理条例の一部改正

【採決結果Ⅱ可決】

条例名、本文中及び表中の「医師住宅」を「医療従事者住宅」に改正し、新たに津和野駅前医療従事者住宅を加える。

◎財産の無償貸与について

【採決結果Ⅱ可決】

津和野小学校多目的スペース及び器具室を「特定非営利法人つわぶきの里」に無償貸与する。

請願審査

◎町道高田線の改良新設について

請願の新設区間は100メートル。現地調査の結果、当該箇所は高低差及びカーブが大きく、幅員も狭く、事故防止のためにも早急な改良が必要である。また、

県道田万川線の迂回路としても重要であると審査報告があり、全員賛成で採択した。

意見書

竹島の領土権確立のために国の早急な対策を求める意見書の提出

提出者 川田 剛
賛成者 青木 克弥

// 小松 洋司
// 米澤 若文

①竹島に対する政府内での専門部署を早急に設置し問題解決に向けて真に機能する強固な体制整備を図ること。

②竹島の歴史、領土問題など日本の将来を担う子供たちへの竹島に関する教育の徹底を図ること。

③竹島の領土権を国内はもとより国際社会に向け、我が国の主張の正当性を広く世論に訴えること。

【採決結果Ⅱ可決】

米海兵隊垂直離着陸機MV22オスプレイ国内配備と低空飛行訓練の中止を求める意見書

提出者 竹内志津子
賛成者 沖田 守

// 小松 洋司
// 京村まゆみ

オスプレイは開発段階から墜落事故が続いている。米軍は「人為的ミス」と言っているが欠陥機だから事故が多発する。配備に反対する沖縄県民大会に10万3000人が参加している。野田首相の日本国民の生命より日米安保条約を重視する米国追隨の姿勢は主権国として問われる。低空飛行をすれば絶滅危惧種のイヌワシやクマタカの生息に影響を与える。オスプレイの配備と低空飛行訓練を中止することを強く要求する。

【採決結果Ⅱ否決】

議員研修

10月10日、松江市で開催された議員研修に津和野町議会全議員で参加してきました。

演題「自治体会改革の課題」、講師は法政大学廣瀬克哉教授とNPO法人「あしづえ」園山士筆理事長。

この研修を今後の議会活動に活かしたいと思います。

提出者		7月臨時会 賛否表 ○=賛成 ●=反対 欠=欠席											結果					
町	長	京村	村上	板垣	竹内	道信	岡田	三浦	青木	斎藤	河田	川田	小松	米澤	後山	沖田	結果	
		町営バス用車両の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成24年度 町道椏井谷線災害防止工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成24年度 津和野中学校校舎耐震補強及び改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
提出者		9月定例会 賛否表 ○=賛成 ●=反対 欠=欠席											結果					
町	長	京村	村上	板垣	竹内	道信	岡田	三浦	青木	斎藤	河田	川田	小松	米澤	後山	沖田	結果	
		財産の無償貸与	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		非常勤の職員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		へき地保育園設置管理条例の一部改正	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		伝統的建造物群保存地区条例の一部改正	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		医師住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成24年度 津和野町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成24年度 津和野町国民健康保健特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成24年度 津和野町介護保健特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成24年度 津和野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成24年度 津和野町簡易水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成24年度 津和野町電気通信事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願		町道高田線の改良新設に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成24年度 津和野町簡易水道整備事業 瀬戸浄水場機械設備工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		公の施設の指定管理者の指定(津和野町駅前医療従事者住宅)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成23年度 津和野町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町奨学基金特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町電気通信事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町診療所特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成23年度 津和野町病院事業会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議員		竹島の領土権確立のために国の早急な対策を求める意見書案の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		米海兵隊垂直離着陸機MV22オスプレイ国内配備と低空飛行訓練の中止を求める意見書案の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決

○議員定数調査特別委員会

平成23年12月14日より平成24年8月20日まで、委員会を合計6回開催し、検討を行った。

※結果

- ・定数は4人減とし12人とする。
- ・適用は次回一般選挙からとする。

○経済常任委員会所管事務調査

津和野町観光協会の観光事業の現状把握

経済常任委員会では、社団法人化した津和野町観光協会の実情を調査した。

期日 平成24年7月25日(水)

※観光協会の職員体制

職員(臨時を含む) 7人

※旅行業への参入

第3種旅行業を取得し、旅行会社ウインズと提携した。旅行の企画・募集・販売を手がけ、自主企画ならではの魅力ある旅の提案も全国の旅行会社や個人マーケットに積極的に発信を行なっていく。

※事務所移転

現在の事務所では、スペースが狭く、今後の展望が描きづらい。JR津和野駅舎も考えたが、その

際には不可能であった。駅の切符販売等の委託業務も可能ならば行いたい。SL館の利用については、町が改修を行っていただくことを条件に、購入を行う。

※SL館の調査現況

町のSL館の調査費について、既に入札を行い、8月24日までに状況調査、耐震調査等が終了する。

※調査意見

- ①旅行業参入によって、観光協会の自立に期待したい。
- ②観光協会が今後の展開を考えると今の場所では手狭である。
- ③SL館移転については、慎重に考えるべきである。
- ④JR駅舎を借用できれば、今後JRとの業務提携、タイヤップも考えられるのではないか。

○契約案件

●町営バス用車両売買契約

契約金額599万8千円

横山自動車

代表取締役 横山 鐵夫

●平成24年度町道椴井谷線災害防止工事請負契約

契約金額4843万7千円

株式会社 日成建設

●津和野中学校校舎耐震補強及び改修工事

契約金額2億1840万円

堀建設株式会社

●津和野町簡易水道施設整備事業瀬戸浄水場設備工事請負契約

契約金額8389万5千円

理水科学株式会社広島支店

●指定管理者の指定

施設名称：津和野駅前医療従事者住宅

指定管理者団体：

医療法人 橋井堂

理事長 須山 信夫

指定期間 平成24年10月4日

～平成26年3月31日



耐震補強、改修工事中の津和野中学校校舎
工事期間は今年 12月28日まで

■編集後記

サンフランシスコ対日講和会議において、当時のスリランカのジャヤワルデネ元大統領は、対日賠償の放棄を宣言し、演説の最後に「実にこの世においては、怨みに報いるに怨みを以てしたならば、ついに怨みのやむことがない。怨みをすててこそやむ。これは永遠の真理である」と演説した。

中国の反日デモで、日本企業が襲撃され、燃えるパナソニックの工場を映像で見た。1978年、鄧小平副首相が、松下幸之助氏に「中国の近代化を手伝ってほしい」との頼みに快く応じて進出したことを思いながら、悲しい気持ちになった。

先日、日本で働きながら、日本の大学で学んでいる中国の青年と話をした。彼は「日本が好きで、将来も日本で働きたい」と語っていた。反日デモの姿だけが中国ではないと感じた。怨みではなく、真の日中友好を構築することこそ、両国の発展につながると思う。

岡田克也

広報委員会

◎青木 克弥 ○岡田 克也

後山 幸次 小松 洋司

京村まゆみ 川田 剛

※◎・○は正副委員長